

# 会 議 録

平成26年9月10日調製

審議会等名	平成26年度 第1回 生涯学習推進会議		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成26年8月6日（水） 午後2時～3時30分		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 (8人)	丸山 正夫委員（会長） 小林 斉子委員 金井 康子委員	高橋 美智子委員（副会長） 井上 浩仁委員 野崎 輝子委員 関川 早苗委員
	(欠席)	大津 正行委員	皆川 孝夫委員
	職員 (3人)	長谷川生涯学習課長 伊藤生涯学習推進係主事	阿部生涯学習推進係長
議 題	(1) 副会長の選出について		
	(2) 平成25年度 三条市生涯学習推進計画 実施状況について		
	(3) 平成26年度 三条市生涯学習推進計画 実施計画について		
	(4) 第2次三条市生涯学習推進計画について		
	(5) その他		
会議内容	別紙のとおり		

丸山会長	<p>本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので、これより平成26年度第1回生涯学習推進会議を開催いたします。</p> <p>初めに、長谷川生涯学習課長から挨拶をお願いします。</p>
長谷川課長	<p>&lt;課長挨拶&gt;</p>
丸山会長	<p>本日欠席の委員は、大津委員と皆川委員2名でございます。本日の会議は、概ね1時間半程度を予定しておりますが、第2次生涯学習推進計画についてなど、議事内容が盛りだくさんありますので、委員の皆様におかれましては、議事進行に特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。</p> <p>それでは、まずは今年度から初めて参加される委員さんもいらっしゃいますし、また、生涯学習課職員の異動もありましたので、皆様からそれぞれ自己紹介をお願いします。</p>
	<p>&lt;自己紹介&gt;</p>
丸山会長	<p>議事に入る前に資料確認を事務局をお願いします。</p>
阿部係長	<p>&lt;資料確認&gt;</p>
丸山会長	<p>それでは、まずは前任の山川副会長の退任により空席となっております副会長の選出を行いたいと思います。</p> <p>三条市生涯学習推進会議設置要綱第5条第2項の規定によれば、「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」とされていますが、いかがいたしましょうか。</p>
小林委員	<p>三条市生涯学習インストラクターの会の高橋美智子さんを推薦いたします。</p>
丸山会長	<p>ただ今、小林委員から、高橋美智子さんを副会長にとの発言がございましたが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>(委員一同) &lt;異議なし&gt;の声あり</p>
丸山会長	<p>それでは、高橋委員に副会長をお願いしたいと思います。</p> <p>就任にあたり、副会長からご挨拶をいただきたいと思います。</p>
高橋副会長	<p>&lt;副会長挨拶&gt;</p>
丸山会長	<p>それでは、次第に従って議題を進めます。はじめに、(2)平成25年度生</p>

	涯学習推進計画 実施状況について、事務局より説明をお願いいたします。
長谷川課長	—資料No.1・2・3により説明—
丸山会長	概略の説明ということで、内容の説明については資料をご覧くださいということですね。
長谷川課長	今後は、パワーポイントを使うことによって一目で内容把握ができ、みんなが共有し合えるイメージで、事業の推進を図っていきたい。全部読まないといけないというのではなく、写真とか絵とか数字とかデータを使って示していかなければならないと反省しております。そういったことを改善して、進めてまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。
丸山会長	内容をご覧になって、具体的な実施内容についてご意見があれば、お聞かせください。
小林委員	事務事業評価というお話がありました。これは内部の評価でしょうか、外部でしょうか。
長谷川課長	内部で評価させていただいたものを、皆様から評価をしていただくと考えております。
小林委員	25年度の推進計画施策体系事業数がありますけれども、体系的なものはこれでいいと思います。ただし、この部分で皆さん辟易したと思うのですが、大事なものなのですね。これを言葉ではなくて、絵だとか写真だとかという言い方されましたけれども、どこまでそれを踏み込んで言われるかという、私は文書だけでは表されない部分があるのですよ。そこら辺をきちっと、体系図なので、見てわかるというもの、読み砕いて、それが現実化するか、私達に伝わるものがあると思いますので、その辺をあまり奇をてらったものにならないような注意が必要だと思いますのでよろしく申し上げます。
長谷川課長	細かいものについても、できれば数値的な裏付けを持たせたいと思っています。内容的にもしっかりしたものを作っていきたいと考えております。
丸山会長	他にございませんか。今までの経過もそうなのですが、これを見ても、よくわからない。数だけでなく、マイナスになったのは何か、プラスになったのは何かということ掘り起こして、これで見るということで了解していただきたいと思います。26年度については、どうしたらいいのかということを検討していただきたい。

長谷川課長	<p>全部をまとめたときに、一定の目標よりも上がっているものと極端に下がっているもの、その部分をわかるようにしていくことが大事なのだらうと思います。そうすると、問題点が一目瞭然でわかる。一番大事なこととして、私どもが考えているものは、毎年皆さんの中に活かされていくべき資料なのだということかと思います。</p>
丸山会長	<p>せっかく資料を作られておるので、できればこの中の特徴的なもの、力を入れたものを若干説明していただけるといい。</p>
小林委員	<p>確認です。先ほど内部の評価か、外部の評価か聞きました。おそらく全庁的に関わっている部分で、内部評価か外部評価か聞きましたのは、ここに書いてある部分で、自己評価という形で出ているのがありますよね。生涯学習課だけで評価ができないものが大半なのですよ。それについての外部評価の部分を、お尋ねしたのです。生涯学習課に関わるものは簡単にできると思いますが、要は全庁的なものに対する内部評価、外部評価というのは大変難しい部分があると思います。一つ例をとると、自分たちで26年度に向かってこうやりますよと、反省点を踏まえた上での部分が出ています。それがおそらく25年度の評価に基づいて26年度はこういう風にパワーアップしていきますよというのが出ている。そういうものを、生涯学習課でカバーできるのかというのが一つの疑問です。それで先ほど私が内部評価なんですか外部評価なんですかと聞いたのは、三条市役所全体は、それは内部の評価にあたると思うのですが、生涯学習に限っては、それは外部の評価ということもあると思いますが、そこら辺の住み分けの部分を示していただかないと、これはこの推進会議で言うことなのか、それとも違うところと言わなくちゃいけないのかというものも出てきていると思うのですよ。そういうものも含めた中でのお話をしていただかないと、わかりにくいですので、確認の意味で、今一度、課長さんお願いいたします。</p>
長谷川課長	<p>生涯学習の推進計画といいますのは、生涯学習課だけではできない。なぜかと言うと、生涯学習というのは全ての年代のステージにおいてやるわけです。そうすると、当然生涯学習課だけでは、逆に言いますと、事業は生涯学習に関係するのだけれども、生涯学習課が何もしていない事業がたくさんあります。そういったものを、今までは掲載していた訳です。それで生涯学習推進計画ですと言っていていいのだろうか、というのが、まず、我々の考え方であって、そうではないのでないかと。なおかつ、他の課と連携しているのだけれども、例えば商工課だとか、子育て支援課だとか、健康づくり課だとか、高齢介護課だとか、関係する課はたくさんあります。現在策定中の次期総合計画では、8年後の目標達成のため関係各課と横の連携を取った中で進めています。</p> <p>それと並行して策定している生涯学習推進計画においても同様に、進捗度合いを評価・分析することによって、自分の課で進んだ部分と、関係各課の取組</p>

	<p>によって進んだ部分とをしっかりと把握し、生涯学習推進評価の目標値にどれだけ近づいたのかを分析する。これが、我々の基本的な今の考え方です。どこまで細かく出せるかはわかりませんが、それでも各課が今、一生懸命やっておりますので、少しでもいい方向に変えていきたいと思っております。</p>
野崎委員	<p>どんな意見を言ったらいいのか。報告が書いてありますけれども、結果がどんなだったのだろうかという疑問が湧いてきました。例えば、3ページの子ども虐待防止講演会というのが中止されるということなのですが、全然やらないのかと思います。虐待についてのは実施状況なしということで、今これだけ虐待が世間で騒がれているのに、実際三条市でどうなっているのかということが知りたいです。せつかくこういう場に出ささせていただいて、そういう報告があるのであれば、結果がやはり知りたいわけです。</p>
丸山会長	<p>減少した事業ということで、虐待防止講演会というのはありますね。虐待報告件数が増加しており、ということで、増加したことによって当初の目的を果たすことができたということでしょうか。</p>
長谷川課長	<p>子育て支援課の課長とも話しております、今の件で、平成25年度の事業について、市民のアンケートを取っております。色々やってきたのだけれども、市民の方からの回答は芳しいものではなかったということでした。行政が目的としていたことと違った回答が出てきました。そういった部分と合わせて、これから検討していかなければならない。</p>
阿部係長	<p>資料No.2の理由のところ、この虐待防止講演会について、講演会をしたことによって報告件数が伸びたということで、ある程度の目的は達成されたということでご理解いただきたいと思います。</p>
小林委員	<p>結局は子ども未来委員会というのを持っていて、子どもに関する、子育て支援に関するものの審議会を持っているわけです。おそらくそこで十分議論はされて、こういう結論を持って、こちらの方に出てきたのだと思います。という風に、この事業の大半が、例えば公民館運営審議会、図書館協議会、社会教育委員会、子ども未来委員会、各課にはだいたい審議会があって、そこで十分な議論をされた結果として出てきたと思います。その背景についてはお尋ねしなければわからないのが大半なのでしょうけれど、聞けば、そういう風に背景があって、おそらく子ども未来委員会でこの部分は相当議論されたと思います。</p> <p>その結果として、言うなれば皆さんが講演会の結果関心を持って、例えば今までは泣いている子がいても別に関心も興味もなかったけれども、今日はちょっといつもと泣き方が違うといった中で、地域の皆さんが関心を持ってそれに取り組んだというような件数が増えたという中で、このような結論が出たと受け取ったわけですね。だけど、もう一方の言い方では、これで虐待が減ったと</p>

	<p>いうわけではないわけです。そうすると、子ども未来委員会では、次のステップの施策を考えるという手順だと思います。ここに出てきた部分だけで、ここで議論しても、子育て支援課が子ども未来委員会とやることとは違うわけですから、今のお話の部分については、この掲示でいいと思います。</p>
丸山会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、議題（3）平成26年度生涯学習推進計画 実施計画について事務局より説明をお願いいたします。</p>
長谷川課長	<p>－資料No.4・5・6により説明－</p>
丸山会長	<p>今ほどの説明について意見等がありましたらお聞かせください。</p>
金井委員	<p>7ページの、生涯にわたる学習機会の充実の時代の親のための子育て体験機会の提供について、前年度の反省課題として、高校生の参加者が保育園に集中して来年度は児童クラブやすまいるランドにおける活動実績を増やすということですが、この中に幼稚園ということも考慮していただけたのかなと思います。保育と幼児教育とわけて考えていただけるのか、それとも、夏休み期間ということが入っていなかったのか。その辺はわかりませんが、例えば夏休み期間ということであれば、今幼稚園は預かり保育もしておりますし、夏季の保育もしております。三条市は私立幼稚園ばかりなので、それぞれ全部同じというわけではないですけれども、必ずしも全部がお休みというわけではありませので、一つの体験する窓口として、挙げてもいいのではないかと思います。</p>
長谷川課長	<p>伝えたいと思いますが、おそらくその区別はないと思います。</p>
関川委員	<p>高校生のボランティアの情報を知りたかった。高等学校には、直接、募集の案内をしたのでしょうか。</p>
長谷川課長	<p>おそらくしていると思います。ただ、広報だけでは、実際に高校生ボランティアは来ませんので、市内の高校だけでなく、近隣にも広報させていただくことが必要だと思います。</p>
佐々木委員	<p>私は老人会として来ているのですが、私がこの会議に出るのはどういう意味があるのか、わかりません。</p>
長谷川課長	<p>少子高齢化が進んでいる中で、これからの高齢化社会で、色々なキャリアを持った方が、色々な経験をされた優秀な方々が退職した後に何をするか。ボランティアや社会活動、公民館活動に参加いただきたい。参加いただける講座の中で、我々としては、ぜひ、一緒に企画をしていきたい。また、一つの講座を</p>

	<p>循環できるようなシステム、知の循環を一緒にやっていきたい。そのために、老人会の皆様の活力を貸していただきたい。</p>
佐々木委員	<p>どこにいてもそういう話を聞きますが、実際には、決まった話しかされません。ほんの一部しか話は回ってきませんし、趣旨が私らの方に回ってきませんので、わかりやすい形で回ってくるといいです。</p>
長谷川課長	<p>新しい総合計画ができる、少子高齢化に特化したものができると思いますので、よろしくをお願いします。</p>
小林委員	<p>子育て支援課の認識がどこにあるのか、確認です。110ページの放課後子ども教室ですが、柱としては生涯学習支援体制の整備、基本施策は生涯学習施設の整備・充実、主要施策は既存施設の有効活用となっています。放課後子ども教室の存在意義、存在価値、存在そのものが、その柱に一致しているかという、そうではないと思えるのです。学校があるから、既存の施設があるから放課後子ども教室があるのではないのです。その認識が、このままここにあるということは、だからスタッフ不足がありますというのは繋がらないじゃないですか。学校が空いているから放課後子ども教室をしますよと言いながら、次の課題に広がらないじゃないですか。空き教室があるからと言って放課後子ども教室をするわけじゃないということであれば、既存施設の有効活用からは外して、例えば老人会の方々がこぞって参画できるような態勢づくりをすることの中で位置付けられるべきであって、空き教室の利用という位置付けをすると、こういう課題は解決できませんよ。その認識の部分が違うから、広がらないと思うのですよ。SOSを出すのならば、そうやって門戸開放した中でSOSを出して、一人でも多く手を挙げてくださいというようなやり方ができれば、解決するわけです。それを学校の空き教室利用という位置付けで放課後子ども教室を語るから、解決できないと思うのです。なぜ出したのか、私にはわかりません。ずっと申し上げてきました。目的その他を考えると、こういう考え方が基本にあるということが、そもそも認識の違い。生涯学習課が持っていた事業ですよ。それが子育て支援課へ移行したということの中で、その基本形が、ここに挙がるような事業じゃなかったということを再認識させていただいて、改めて基本形から発生して、佐々木さんたちが入るようなやり方を考えていただければ、こちらの部分も解決できる要素はいっぱいあると思うのですよ。その認識不足から、横に動かないということがあるということをお伝えしたい。</p>
長谷川課長	<p>この件につきましては、子育て支援課長と話をしましたが、やはり、認識が違うと話が出ました。ただ、学校だけでやるのではなく、地域でやる必要があるのではないかと。なかなか進んでいない実態があるということで、担当課長は認識していますので、その辺はしっかりお伝えしたいと思います。</p>

小林委員	<p>26年度の実施計画に入っているから、このまま移行するとあれですよ、ということですから、課長さんお気づきなのであれば、当然、年次計画の中でも変わってくるとご期待申し上げます。</p>
丸山会長	<p>皆さんから出された意見が今後の事業運営に反映されますよう、事務局の検討をお願いします。</p> <p>(4) 第2次三条市生涯学習推進計画について、事務局から説明をお願いします。</p>
阿部係長	<p>－資料No.7により説明－</p>
丸山会長	<p>この第2次三条市生涯学習推進計画の策定にあたりましては、生涯学習推進委員2名と社会教育委員4名の計6名で4月、6月、7月と作業部会を実施いたしまして、ここまでまとめ上げました。これからもっとまとめていかなければならないのですけれども、この中で、ご意見ありましたらお聞かせいただきたいと思います。作業部会は作業部会で詰めていきますけれども、生涯学習推進委員の皆さんは、その計画を策定する一番要でございますので、皆さんのご意見をぜひ入れていきたいと思っております。</p>
長谷川課長	<p>今、難儀していただいているのは、4～5ページの氷山ですが、これが何かというと、顕在意識と潜在意識にわけております。顕在意識というのは、生涯学習課の色々なイベントに自ら手を挙げて参加していただいているということ。ところがその下にある潜在意識、行きたいのだけれども行けない、行きたいとも思わない、それはアンケートを取って、かなりのパーセンテージがあります。そのような、意識がない方に「やってみたいな」と思わせるようなことは何かないかということで、そこに書きました。潜在意識をどうしたら顕在意識にできるのか、そういった部分に取り組んでいかなければならないと考えております。</p>
丸山会長	<p>何かご意見ないでしょうか。</p> <p>今後また作業部会でまとめていきますので、次回にもご案内できると思います。</p>
阿部係長	<p>&lt;今後の予定について説明&gt;</p>
高橋副会長	<p>今までの話から外れますが、市の一般市民の方から、「自主サークルになった」とか「クラブ制になった」と聞きますが、講師の任期が決まっているのでしょうか。</p>



阿部係長	特にありません。公民館講座が3年経ったら、サークル化しています。講師に任期があるということではありません。
丸山会長	他に意見はありませんか。よろしいでしょうか。 それでは本日協議いただく議事はすべて終了いたしました。 以上を持ちまして平成26年度第1回生涯学習推進会議を閉会いたします。 ご協力ありがとうございました。